

太陽光

風力

バイオマス

小水力

地熱

農山漁村再エネ法



熊本県合志市 合志農業活力 プロジェクト合同会社

— 地域農業の新たな可能性を広げる農業振興型太陽光発電 —

課題 1

市の自主財源の減少によって、市の基幹産業である農業を始めとする、将来の人口減少に備えた予算の捻出に苦労していた。

課題 2

環境にあまり配慮されていない時代の古い焼却場跡地（遊休地）があり、用地として利活用が難しくなっていた。

発電

課題を解決するため、市、地元企業、発電事業者の出資によって合同会社を設立し、遊休地を活用した太陽光発電事業を開始。

効果

売電収入を活用し、「守りの農業」、「攻めの農業」と題した、長期的・多角的な農業振興のプロジェクトを実施中。

point

設 備 概 要

- 発電種類 : 太陽光発電
 - 発電出力 : 999.6kW
 - 発電量 : 約115万kWh/年
 - 建設費 : 約2億6,750万円(消費税別)
 - 運転開始 : 2014年3月
- ※ 地域還元型農産漁村再生可能エネルギーモデル
早期確立事業(農林水産省補助事業)活用

事業概要(経過)

2013年01月

太陽光発電設備の建設や、売電収入を活用した地域振興を共同で推進するため、合志市、熊本製粉(株)・自然電力ファーム(株)の3者で包括連携協定を締結。

2013年08月

発電設備を管理・運用するため、合志市農業活力プロジェクト合同会社を設立。翌年4月には、売電収入を活用して農業支援を行う(一社)合志農業活力基金を設立。

2014年03月

市所有の遊休地において、太陽光発電設備が稼働開始(着工は2013年12月)。助成金は17年間で償還予定。

2015年09月

アジアのエネルギー業界における草分け的なプロジェクトとして、「Asian Power Awards 2015」において「Solar Power Project of the Year」金賞を受賞。

事業スキーム

守りの農業

合志・西合志土地改良区
(排水路の改修、調整池の維持管理等を実施)

支出(売電収入の5%)

合志農業活力プロジェクト合同会社

出資

連携

合志市

出資

熊本製粉株式会社

配当

出資

自然電力ファーム株式会社

配当

(一社) 合志農業活力基金

支出

※社員総会で実施事業を決定

攻めの農業

6次産業化の商品開発・販路開拓、
産地化支援事業等を支援

「攻めの農業」の実績

機能性成分を含む新品種米の栽培支援や、規格外農産物を使用したコールドプレスジュースの開発・試験販売、機械の導入等を支援。

2018年11月には、熊本市のブルフリーと共に開発に携わったクラフトビール(甘草を使用)や野菜チップスの販売が開始。